

#### 4、利用促進（D-①どのような利用促進を行うのか）

##### （1）コミュニティサイクル

環境に優しい自転車を活用する低炭素社会の実現への取組みの一環として「堺市コミュニティサイクル」の共用自転車の貸し出しを、平成 22 年 9 月から、南海電鉄「堺東駅」「堺駅」JR 阪和線「堺市駅」「百舌鳥駅」の駅前 4 カ所で実施し、平成 24 年 4 月 16 日から堺市役所向かいの大小路沿い歩道上及び堺伝統産業会館前の 2 カ所に、24 時間利用が可能なまちなかサイクルポートを設置した。

コミュニティサイクルとは、共用の自転車を配置するサイクルポート（駐輪場）を複数配置し、どこのサイクルポートでも自転車の貸出・返却が可能な交通システムで、電車やバスへの乗り継ぎの利便性を高め、自転車や公共交通の利用を促進し、CO2 排出量の削減とともに、駅前等放置自転車対策などにも寄与することを目的にしている。



##### 【課題】

利用者の増加に伴いまちなかサイクルポート（無人）では設置台数が少ないため、利用状況によっては自転車が不足したり、満車となる状況が発生している。これは、自宅から駅への正利用と駅から職場までの逆利用がアンバランスのためであり、バランスが取れるような方策について検討を行う必要がある。

##### 【今後の取り組み】

##### ① コミュニティサイクルポートの拡充。

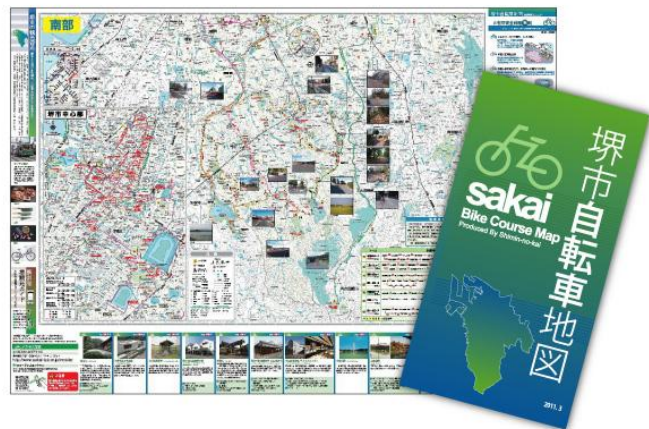
文化観光拠点や中百舌鳥駅前への設置検討を行う。

## (2) 自転車地図を利用した市民サイクリングの開催

市民の自転車利用を促進するため、堺自転車のまちづくり市民の会が、市内をめぐる12のコースを紹介している。

自転車地図は、平成19年3月に発行を開始し、平成23年3月に全面改定を行った。

市民サイクリングは、午前中は初心者を対象とした市内の名所などを巡る身近なサイクリングコースを設定し、午後は長距離走行を希望される方を対象とした少しアップダウンのある長距離コースを設定し、多くの方々にサイクリングの楽しさが味わえるような構成としている。



### 【今後の取り組み】

- ① 市民サイクリングの拡充実施を図る。

## (3) 堺自転車デー

大阪府では毎月20日をノーマイカーデーと位置付け、自家用自動車の利用を抑え、自転車や公共交通の利用を呼び掛けており、本市ではこのノーマイカーデーを堺自転車デーとして、自転車のルール<sup>の</sup>遵守・マナー<sup>の</sup>向上<sup>の</sup>啓発とともに安全な自転車利用の促進を図っている。

### 【今後の取り組み】

- ① 定期的な堺自転車デーの開催（継続）

## (4) サイクル&ライド



自宅から最寄りの鉄道駅まで自転車で行き、公共交通機関を利用するための  
もので、徒歩圏より遠い距離の利用を促す。平成 24 年 4 月 1 日から阪堺線の  
妙国寺前電停付近に新たに無料駐輪場を開設した。

今後、利用状況などを見ながら、他の電停駅についての設置検討を行う。

#### 【今後の取り組み】

- ① サイクル&ライドの設置駅の拡充

## 参考事例

### (5) 自転車通勤の促進

自転車は移動にあたって二酸化炭素を排出せずガソリンも消費しない。地球  
環境への負荷低減や公害防止といった環境に優しい乗り物であり、かつ健康  
増進に効果があることから、自転車通勤を推進している自治体や企業が増え  
つつある。自動車通勤者に対しての駐車場のスペース確保に比べ、自転車の  
駐輪場は敷地の有効利用という観点も企業活動にとってのメリットといえる。

また、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北大震災時に、交通麻痺に伴う帰宅  
困難などから、自転車通勤する人が急増しており、自転車に対する見方が大  
きく変わってきている。

本市の取り組みはないが、他の自治体において先進的な取り組みがなされて  
おり、また市内の企業においてもすでに取り組みされている。

#### ア、自治体での自転車通勤事例

##### 名古屋の事例

##### 名古屋市の自転車通勤手当の改正

距離	改正前	自転車利用改正後	自動車利用改正後
5km 未満	2,000 円	4,000 円	1,000 円 (単独利用)
5km 以上 10km 未満	4,100 円	8,200 円	4,100 円
10km 以上 15km 未満	6,500 円	8,200 円	6,500 円

イ、市内で自転車通勤を推進している企業

自転車部品を製造している(株)シマノは、自転車通勤者に向けて駐輪場や入浴施設を完備しているほか、自転車通勤手当の支給や、ヘルメット購入の補助を実施している。

自転車はエコロジーで機動力がある。CO<sub>2</sub>も排出せず、健康増進に効果がある。

#### 【課題】

交通体系の中での自転車利用者の『自転車は軽車両である』という意識の低さがみられる。自転車には交通法規が適用されないというような認識を持たれている場合もあり、自転車に関する交通ルールを継続的に学ぶ場が必要。

また、自転車通勤者に対する事業者側の理解が不足しているケースがみられる。自転車通勤は、環境面や健康面に効果があり、事業者としての導入メリットを明らかにすることが必要。

#### 【今後の取り組み事例】

- ① 自転車通勤者への交通マナー啓発活動
- ② 自転車通勤推奨制度の創設検討

#### (6) 観光サイクルサポーターによる市内観光

市民や来訪者などで堺市の歴史・文化遺産名所などをコミュニティサイクル等の自転車に乗って比較的2～3時間程度の短い時間で周遊できるような観光コースを設定し、自転車のまち堺を味わっていただく。

#### 【今後の取り組み事例】

- ① 観光サイクルサポーターの育成